

開催日時	平成25年10月16日（水） 午後1時30分から午後2時30分まで
開催場所	大垣市民病院 2病棟1階会議室
議題	(1) 平成25年度の取り組み状況について (2) 開放型病床利用登録の圏域拡大について (3) 地域医療支援病院の承認要件見直しについて (4) 『よろず相談・地域連携課だより』の発行について
出席委員	委員長 山川 隆司（大垣市医師会長） 副委員長 杉山 勝治（大垣歯科医師会長） 委員 岩田 雅人（安八郡医師会長） 委員 和田 育穂（大垣市医師会） 委員 近藤 潤一郎（大垣市医師会） 委員 片野 雅文（大垣歯科医師会） 委員 松本 正平（大垣薬剤師会長） 委員 加納 美緒（西濃保健所長） 委員 山本 譲（大垣市教育長） 委員 伊藤 恒子（日本中央看護専門学校長） 委員 竹中 昌子（大垣市連合婦人会長）
会議の公開区分	公開
傍聴人	なし
審議概要	<p>(1) 平成25年度の取り組み状況について</p> <p>・よろず相談・地域連携課より、紹介率・逆紹介率、共同利用の実施として紹介医からの診察・検査数、救急医療の提供として救急利用件数、職員・医療関係者の研修会と市民対象の講演会の開催状況、開放型病床の利用状況の報告があった。内容は次のとおり。</p> <p>平成25年度の取り組み状況</p> <p>紹介率：45.5%（H25年4～9月平均）、逆紹介率：64.8%（H25年4～9月平均）</p> <p>紹介診察件数：3,600件（H25年4～9月計）、紹介検査件数：633件（H25年4～9月計）</p> <p>救急受診患者数：23,443人（H25年4～9月計、月平均3,907人）</p> <p>救急車利用件数：4,555件（H25年4～9月計、月平均759人）</p> <p>救急入院患者数：1,284件（H25年4～9月計、月平均214人）</p> <p>職員・医療関係者研修会：開催回数13回、受講者数1,302人（院外144人、院内1158人）</p> <p>＊地域医療連携研修会、病診連携カンファレンス、コメディカルオープン勉強会等</p> <p>市民を対象とした講演会：開催回数11回、受講者数514人（院外463人、院内51人）</p> <p>＊市民公開講座、糖尿病公開講演、成人気管支喘息教室等</p> <p>開放型病床の状況</p> <p>登録医数：84人（医師会員75人、歯科医師会員9人）（H25年9月30日現在）</p> <p>病床利用率：14.3%（H25年4～9月平均）</p> <p>・各委員より、上記の取り組み状況についての意見があった。内容は次のとおり。</p> <p>開放型病床の利用について</p> <p>→（委員）個室希望の患者に対応してほしい。</p> <p>→（委員）入院適応の判断について、病状が軽いときでも、1週間ほど入院して管理してほしいと思うときがある。</p> <p>→（委員）利用促進のため『よろず相談・地域連携課だより』及び医師会の講演会や病診連携の研修会で案内するとよい。</p> <p>(2) 開放型病床利用登録の圏域拡大について</p> <p>・よろず相談・地域連携課より、開放型病床の利用登録範囲を現在の西濃2市4郡の医師会・歯科医師会に、羽島市医師会及びもとす医師会を加えるとする説明があった。</p> <p>・各委員より、上記の取り組みについての意見があった。内容は次のとおり。</p> <p>→（委員）西濃地域を支援する病院として機能の強化を求める。</p> <p>(3) 地域医療支援病院の承認要件見直しについて</p> <p>・よろず相談・地域連携課より、地域医療支援病院の承認要件見直しについて説明があった。内容は次のとおり。</p>

	<p>①紹介率の算定方法の見直し</p> <p>紹介率の算定式は現在、分子に紹介患者数に救急患者数を加えているが、見直し後、紹介患者数のみとなる。当院は見直し後の算定式では3%程度低下し、平均42.8%になり、基準値の40%を達成するのに余裕がなくなる。</p> <p>②救急搬送患者の受入に関する基準</p> <p>救急搬送患者を紹介率の算定式から分け、個別評価とする。地域の救急搬送患者件数の5%以上を担うことが必要。当院は現状で基準を達成している。</p> <p>③地域の医療従事者に対する研修</p> <p>地域の医療従事者に対する研修会を年間12回以上主催することが要件とされる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 各委員より、上記の取り組みについての意見があった。内容は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> →（委員）地域医療支援病院とは、地域の医療機関等とのネットワークを作り、患者様にスムーズに有効的な医療資源として使えるよう、また、人材を育てることも支援の1つと思う。 <p>（４） 『よろず相談・地域連携課だより』の発行について</p> <ul style="list-style-type: none"> よろず相談・地域連携課より、研修会や開放型病床の案内を掲載した『よろず相談・地域連携課だより』の第4号を作成し、西濃圏の医師会、歯科医師会び羽島市医師会、もとす医師会の各会所属の医療機関に配布したことを説明した。 各委員より、上記の取り組みについての意見があった。内容は次のとおり。 <ul style="list-style-type: none"> →（委員）顔が見える関係を作るため、顔写真を掲載するとよい。 →（委員）連携を取るため、特養等の介護保険施設へ配布はしないのか。 →（委員）介護施設にも多くの看護師がいるため、たよりを読んでもらうとよい。 →（委員）特養だけの医師もいる。医療を行う施設には配布した方がよい。
次回開催	平成25年度第3回は12月18日（水）を開催予定とする